

## 2022年度 1学期 始業式 式辞

先ほど紹介にあった小林です。心新たに生徒の皆さん、教職員の皆さん、この純美礼学園に集う者として、心を一つにして『心技一如』の気持ちをもって進んでいきましょう。

那須校長先生が修了式で「人は唯一無二の存在」という話をされました。2人として同じ人はいないことのがけがえのなさを大切にしようとおっしゃいました。また、自分を伸ばそう、他者を認めようとも話されました。もちろん認められる側からすれば、「認めてもらうだけの努力は必要」ということは肝に銘じておく必要はありますが、これらのことを是非、日常の学校生活で実践していきましょう。

ところで、この2月に北京で冬季オリンピックが開催されましたが、私は、女子スピードスケートの小平奈緒さんの試合後のコメントがとても印象に残っています。彼女は前回の平昌（ピョンチャン）オリンピックで金メダルを獲得、連覇がかかっていたのですが、それは叶いませんでした。『メダル獲得という目標についてはやり遂げられませんでした。ただ、私はやりきることができたと思っています』というものです。私には、潔く、そして素敵な言葉に響きました。

新年度が始まるにあたって、この「最善を尽くしてやりきる」、これをみなさんに伝えたいと思います。目の前の現実は変わりません。変わらないものを相手にするとき、自分にとってプラスになる考え方をもってください。

2022年度が始まります。3年生は「あきらめない心」をもって自己実現に向かって下さい。2年生は、この1年で多くの「経験」という来年につながる財産を築いてください。教職員は、それを全力で支えましょう。

以上をもって、式辞とします。